



「TBS オンデマンド」が初のオリジナルドラマを制作・配信
被災地・気仙沼を舞台にした堤幸彦監督の最新作

TBS テレビが運営する動画配信サービス「TBS オンデマンド」は、初のオリジナルドラマ「Kesenuma,Voices.2 東日本大震災復興特別企画～2012 堤 幸彦の記録～」を3月1日から配信します。

堤幸彦監督の最新作となるこの作品は、震災後の気仙沼の復興の姿を映すドキュメンタリードラマで、震災後1年を期に放送された「Kesenuma,Voices.」の続編です。前作は「第2回 衛星放送協会オリジナル番組アワード」にてドラマ番組部門の最優秀番組に選ばれました。

「TBS オンデマンド」は監督の意図と社会的意義に共感し、VOD サービスのオリジナル作品として企画。配信事業者がオリジナルの長編ドラマを制作し配信するのはきわめて珍しく、類例がありません。今回、特に多くの人に視聴していただけるように、前作とあわせて、11日間は無料配信といたします。

「TBS オンデマンド」は2009年度に在京キー局の中でも先駆けて通期黒字化を達成し、唯一、地上波放送ドラマの先行配信も行っています。今回は、著名監督のオリジナル最新作を制作・配信することでVOD サービスやオリジナルコンテンツの更なる可能性を追求したいと考えています。

以上



<作品概要>

「Kesenuma,Voices.2 東日本大震災復興特別企画
～2012 堤 幸彦の記録～」

出演：生島勇輝、生島翔、夜ふかしの会（特別出演）、気仙沼のみなさん

構成・監督：堤幸彦 プロデューサー：杉原奈実、田澤保之

制作：オフィスクレッシェンド/TBS

堤幸彦監督が描く被災地・気仙沼を舞台にしたドキュメンタリードラマの続編。ボランティア活動で自らの無力感に直面した二人の若者のその後を描く。出演は、生島勇輝と生島翔。妹夫婦を津波に流されたアナウンサー生島ヒロシ氏の長男と次男である。過酷な運命を背負いながら気仙沼の今を生きる人たちの数多くの証言。そして、その声二人をも動かしてゆく。

被災から2年、前作「Kesenuma,Voices. 東日本大震災復興特別企画～堤幸彦の記録～」から1年。生島兄弟の体験を通して、その後の気仙沼で困難と直面している人々、復興に向けて生き抜く人々の"声"を記録し、"伝える"ため、堤幸彦監督が再び「Kesenuma,Voices.2」として描いた。